



シンガポール2025WPS世界選手権 日本代表報告



※メダル個数は日本知的障害者水泳連盟所属選手を含みます。



(一社) 日本パラ水泳連盟

JPSF

選手成績



7日間にわたって行われたシンガポール2025WPS世界選手権。
日本からは20名（日本知的水泳連盟所属選手含む）のバラスイマーが出場し、金1・銀3・銅5の計9のメダルを獲得。
チャンピオンシップレコード 1、アジアレコード 1の成績を残しました。
木村敬一選手、鈴木孝幸選手等のベテラン勢の活躍に加え、混合4×100m 49ptメドレーリレーでは、強豪中国を抑え銅メダル（アジア新記録）を獲得し、世界と戦えるチーム力の強さを示しました。



鈴木 孝幸 Suzuki Takayuki

SB3 50m Breaststroke 48.53 2位 銀メダル

S4 50m Freestyle 37.73 3位 銅メダル

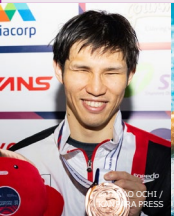
辻内 彩野

TSUJIUCHI
AYANO

S12 100m Backstroke 1:14.45 5位

S12 50m Freestyle 28.05 3位 銅メダル

S12 100m Freestyle 1:00.73 2位 銀メダル 日本新



木村 敬一 Kimura Keiichi

S11 50m Freestyle 26.22 5位

S11 100m Butterfly 1:02.63 3位 銅メダル

富田 宇宙

Tomita Uchu

S11 100m Butterfly 1:04.14 6位

S11 400m Freestyle 4:37.31 2位 銀メダル



S11-13 Mixed 4×100 m Freestyle 49pts 辻内、木村、石浦、齋藤 4:07.96 3位 銅メダル

S11-13 SB11-13 Mixed 4×100 m Medley 49pts 辻内、木村、石浦、齋藤 4:37.90 3位 銅メダル アジア新



窪田 幸太

Kubota Kota

S8 100m Backstroke 1:07.62 4位

石浦 智美

Ishiura Tomomi

S11 50m Freestyle 30.71 4位

S11 100m Freestyle 1:10.10 4位

S11 100m Backstroke 1:22.66 6位



選手成績



西田 杏

Nishida An

S7

50m Butterfly

37.41 6位

由井 真緒里

Yui Maori

SM5 200m Individual Medley 3:57.85 6位

S5 200m Freestyle 3:12.53 4位

S5 100m Freestyle 1:31.52 4位



荻原 虎太郎

Ogiwara Kotaro

S8

100m Backstroke

1:07.71 5位

SM8

200m Individual Medley

2:29.31 6位

齋藤 元希

Saito Genki

S13 100m Butterfly 1:00.23 8位

SB13 100m Breststroke 1:12.40 8位

S13 100m Backststrok 1:03.00 8位

SM13 200m Individual Medley 2:17.99 7位



田中 映伍

Tanaka Eigo

S5

50m Backstroke

35.77 5位

S5

50m Butterfly

33.38 4位

SM5

200m Individual Medley

3:12.51 8位

川渕 大耀

Kawabuchi Taiyo

S9 400m Freestyle

4:21.09 6位



日向 楓

Hinata Kaede

S5

50m Butterfly

35.78 7位

前田 恵麻

Maeda Ema

SM9 200m Individual Medley 2:45.82 7位



引き続き応援をお願いします！



シンガポール 2025World Para Swimming 世界選手権 報告書

代表監督 上垣 匠

1. 大会名称 シンガポール 2025WPS 世界選手権
2. 大会期間 2025 年 9 月 18 日（日）～9 月 27 日（土）（7 日間）
3. 開催地 シンガポール
4. 運営主体 World Para Swimming（WPS）
5. 参加規模 74 カ国・地域 585 選手
6. 代表選手 21 名（身体 15・知的 6）内、身体 1 名は体調不良により辞退
7. 代表役員 22 名（身体 16 名、知的 6 名、内 JSC 派遣 身体 4 名、知的 2 名）
8. 成績 ① 金 1(1)個 銀 3 個 銅 5 個 計 9(1)個 ※()は数字内の知的数
(2023=金 1(1) 銀 3(1) 銅 5 (計 10(2))
② 金メダルランキング 17 位 総メダルランキング 16 位（知的含む）
(2023=金メダルランキング 22 位 総メダルランキング 10 位)
③ 入賞数 個人 29 団体 3 計 32
(2023=個人 36 団体 0 計 36)

9. 選考基準と選考方法

(1) 選手

代表選手選考基準は、2 段階選考を実施。4 月の富士・静岡 WS にて派遣 A 突破選手を選考、その後 6 月末の知的日本選手権までの記録で派遣 B 突破選手を選考。更に、派遣 A/B それぞれに 22 歳以上と 21 歳以上の区分に分け、上限 10 名ずつの合計 20 名の選考枠を設けた。結果的には 22 歳上は 10 名、21 歳以下は 5 名が選考された。大会直前に体調不良により 1 名（福田）が自主的に辞退することとなり、21 歳以下は 4 名となり、合計 14 名となった。

派遣基準記録は、パリ 2024MQS を基準として 22 歳以上の派遣 A は 5 位相当、派遣 B は 8 位相当、21 歳以下の派遣 A は 6 位相当、派遣 B は世界選手権の MQS とした。

(2) スタッフ

2025 年 1 月に代表準備役員として 5 名（上垣・岸本・宮原・尾原・瀬川）を役員選考委員会にて決定し、選手選考に向けての準備に当たった。瀬川については本務の都合により代表役員辞退、宮原は体調不良により辞退となった。それ以外の代表スタッフ選考は、パリ 2024 大会に強化活動に関わってきたスタッフを基本とし、新しいスタッフも積極的に選考した。役員は 12 名、支援スタッフ 4 名の合計 16

名（男性 13 名・女性 3 名、内 JSC 派遣 4 名）の構成となり、パーソナルではコーチ 1 名とタッパー 1 名が支援スタッフとして選考し、代表役員及び支援スタッフとして役員選考委員会にて承認し決定した。

10. コーチ等の役割分担

監督、ヘッドコーチ、総務、医科学チームをチームの中心に置き、コーチ、トレーナー、映像、心理、ドクターの役割で分担した。ヘッドコーチには引き続き岸本コーチに就任していただき、スイムコーチは田中・古賀・竹村の体制で、それぞれに担当選手を割り当てた。S11 選手については 3 名の選手にそれぞれ専属タッパーを配置し、大会当日に選手とタッパーと一緒に行動できるようにした。

ほとんどのスタッフがパリ 2024 大会の経験があり、遠征までに国内大会 1 回のシミュレーション大会（横浜インクルーシブ大会）と 1 回の代表合宿、日常練習でのコミュニケーションにより、本番に繋げられる流れは構築できた。結果的には、パーソナルスタッフの役割とチーム内での立ち位置などの課題が浮き彫りになり、今後に向けて見直す事を検討する。

11. チーム目標

目標は 3 つ、

- ①金を含む 15 個のメダル獲得
- ②新たなメダリスト 3 名の輩出
- ③全員入賞

を掲げて強化を図った。

選手達からの目標としては、「笑利」のチームスローガンを掲げ、パリ 2024、マンチェスター世界選手権での記録や結果を超える意気込みを掲げた。

結果としては、各国が積極的な選手派遣を行い、パリ大会翌年ながらハイレベルな大会となった。また、10 代の若手選手の台頭が目立ち、東京～パリに向けて準備してきた世代のデビューとしてこの大会がその舞台となった。日本チームは 2020 年～2023 年のコロナ禍により活動を制限せざるを得なかった年代の育成が進んでいないこともあり、21 歳以下の区分でのメダル獲得には至らなかった。これらの結果から、①は 8 個と半数程度、②においては 0 名、③は達成できた。

12. 代表活動（遠征・合宿）

6 月末に選考を終えた後、国内合宿 2 回（内国内大会 1 回）を実施した。

- ① 最初の合宿となった 7 月の代表合宿では、横浜インクルーシブ大会においてチームシミュレーションを実施、岸本ヘッドコーチを中心に、本番で担当するコーチスタッフを配置し合宿を実施した。タッパーについても同様の配置とし、各担当選手とコーチの連

携における確認を行なった。8月に実施した2回目の代表合宿においては、チームビルディングも兼ねつつ、選手の家族を招待したファミリーデイや、所属・スポンサーを招いた公開練習などを実施し、選手を取り巻くアントラージュへの理解促進などにより選手活動の継続的な支援を強化する取り組みを実施した。

- ② 34pts リレーについて、個人種目と同日の選手がリレー参加への難色を示す状況があり、出発前まで調整を行なったが、リレーメンバーの1名が体調不良により参加を辞退したことでリレー出場自体を棄権することとなった。パリ大会でも同様の状況が生まれたため、今後のリレーチームのあり方について課題を残す結果となった。

13. プロテスト（競技）

今遠征でのプロテストに該当する競技は発生しなかった。

14. 総評（成果と課題）

パリ 2024 大会の主力選手を中心に新しく代表選手1名が加わったチーム構成の中、パラ翌年の大会ということで若手選手のメダル獲得につながる大会として選考を行うなど、LA2028に向けたステップを踏む大会として位置付けて派遣を行なった。

しかしながら、各国は主力選手+新選手を積極的に参加させハイレベルの大会となった。特にメダルランキングで2位となったアメリカは大躍進を遂げ、LA2028に向けた選手層の充実は目を見張るものがあった。また、スペインも大躍進を遂げており、新しい選手の台頭やベテラン勢の勢いもあり、リレー3種目で金メダルを獲得するなどチーム力の高さが突出していた。さらには、NPAは若手選手のメダリストを多く輩出し、パリ 2024 大会に出場していなくともメダルを獲得するなど、世代交代をこの大会で一気に加速させた。中国もこれまでパラ大会翌年は休養していたが、この大会には参戦し、メダルランキングでも3位に入るなど、LA2028に向けた強化体制が変化してきたことを印象付けた。

日本チームはパラ翌年の流れで主力となるベテラン選手がパリ大会のパフォーマンスまで戻せておらず、ハイレベルな今大会の中では順位を落とす結果となった。チームの主力が順位を落とす中、若手選手が奮起するには強豪選手とは実力差もあり入賞するに留まった。リレー2種目で銅メダルを獲得できたが、幸運にも参加国が少なかったことがその要因でもあるため、評価できるとは言えない。個人種目におけるベスト率は人数で30%を下回り、アジア新1、日本新8、自己ベスト6と、国際大会としては低い結果であった。エントリーリストが判明した段階で各国の選手層は把握でき、ランキングなども確認したが、その段階からのジャンプアップは厳しい状況であった。

これらの結果から「世界の潮流が変わった」ことを実感し大会であったが、2年後の世界選手権でこの現実を知るよりも、今年の段階で把握できたことはLA2028に向けた対策を取れる機会としてポジティブに捉えて今後の計画していくことは急務である。

また、21 歳以下で 5 名しか MQS すらも突破できていない日本の現状から目を背けてはいけない。選手層はレベルにも直結することは明白であり、10 代の選手の強化は日常的に優先して実施していくことを実行することが急務である。今年実施されるアジアユース大会に出場する世代の中で、パラリンピックの MQS に近づける選手を 1 名でも増やしていく努力をしていきたい。その課題を解決することで、LA2028 でのメダルの色は変わってくるだろう。

リレーにおいても、まだまだ戦える水準にはなく、個々の地力をつけていかないとチーム力に繋がらないことは再確認できた。パラリンピックに出場することは当然であり、決勝に残り戦えるチームにすることは、選手の意識改革と競技力の大幅な進化が求められる。自己ベストについても、わずかな幅ではなく、大幅なレベルアップができる対策、特に伸び盛りの 10 代で川淵のような大幅な成長など、NF としても知恵を出し合い改善する取り組みも、戦えるチームにするためには必要と感じる。

チームとしては、新しく窪田を中心としたチームを構成したが、チーム力を引き上げるまでの取り組みはできなかった。選手のパーソナリティーにアプローチできる取り組みも必要であるが、それも若い世代から取り組む必要がある。スタッフは若いスタッフが安定した活動ができているのは強みであるが、一方でパーソナルスタッフの位置付けについては課題が残り、事前の制度設計や規定の整理などをしておくことで防げる問題もあることを再確認する機会となった。

この度の世界選手権に向けて、関係の皆様には多大なるご支援とご協力を賜りました事、心より御礼申し上げます。パリ 2024 の熱狂を LA2028 にも繋げられるよう、皆様から応援されるチームを目指して取り組んでいきたいと考えています。今後とも引き続きご厚情を賜りますようお願い申し上げます。ありがとうございました。

15. 身体選手記録など

シンガポール2025WPS世界選手権 日本代表身体選手結果一覧								2025.09.30
金 0、銀 3、銅 5 アジア新 1、日本新 8								
選手名	クラス	種目	出場日	予選		決勝		備考
				記録	順位	記録	順位	
鈴木孝幸	S4	50m 自由形	Day5 9/25	00:37.85	1位	00:37.73	銅	
	SB3	50m 平泳ぎ	Day1 9/21	00:50.92	4位	00:48.53	銀	
木村敬一	S11	50m 自由形	Day 1 9/21	00:26.38	5位	00:26.22	5位	
	S11	100m バタフライ	Day2 9/22	01:03.49	3位	01:02.63	銅	
富田宇宙	S11	400m 自由形	Day7 9/27	04:45.66	2位	04:37.31	銀	
	S11	100m バタフライ	Day2 9/22	01:05.51	6位	01:04.14	6位	
窪田幸太	S8	100m 背泳ぎ	Day2 9/22	01:07.29	3位	01:07.62	4位	
	S8	50m自由形	Day5 9/25	00:28.30	11位			
荻原虎太郎	S8	100m 背泳ぎ	Day2 9/22	01:07.63	5位	01:07.71	5位	
	SM8	200m 個人メドレー	Day6 9/26	02:30.82	6位	02:29.31	6位	
川淵大耀	S9	400m 自由形	Day5 9/25	04:23.51	5位	04:21.09	6位	
	S9	100mバタフライ	Day3 9/23	01:03.99	15位			
	SB8	100m平泳ぎ	Day7 9/27	01:22.24	11位			
	SM9	200m 個人メドレー	Day2 9/22	02:26.22	10位			
田中映伍	S5	100m 自由形	Day7 9/27	01:21.50	12位			
	S5	50m 背泳ぎ	Day2 9/22	00:36.10	5位	00:35.77	5位	日本新
	SM5	200m個人メドレー	Day4 9/24	03:19.70	8位	03:12.51	8位	
	S5	50m バタフライ	Day3 9/23	00:34.61	5位	00:33.38	4位	
日向楓	S5	50m 自由形	Day1 9/21	00:36.01	11位			
	S5	100m 自由形	Day7 9/27	01:19.63	11位			
	S5	50m 背泳ぎ	Day2 9/22	00:39.54	10位			
	S5	50m バタフライ	Day 3 9/23	00:35.75	7位	00:35.78	7位	
齋藤元希	S13	400m 自由形	Day6 9/26	04:33.49	9位			
	S13	100m 背泳ぎ	Day4 9/24	01:03.31	8位日本新	01:03.00	8位	日本新
	SB13	100m 平泳ぎ	Day2 9/22	01:11.54	8位日本新	01:12.40	8位	
	S13	100m バタフライ	Day1 9/21	01:00.09	8位日本新	01:00.23	8位	
	SM13	200m 個人メドレー	Day7 9/27	02:18.66	7位	02:17.99	7位	
辻内 彩野	S12	50m自由形 (S13)	Day3 9/23	00:28.70	3位	00:28.05	銅	
	S12	100m 自由形	Day5 9/25	01:02.01	1位	01:00.73	銀	日本新
	S12	100m 背泳ぎ	Day 1 9/21		予選なし	01:14.45	5位	
由井真緒里	S5	200m 自由形	Day6 9/26		予選なし	03:12.53	4位	
	S5	100m 自由形	Day7 9/27	01:33.12	5位	01:31.52	4位	
	SM5	200m 個人メドレー	Day4 9/24	03:59.14	6位	03:57.85	6位	
西田 杏	S7	50m バタフライ	Day5 9/25	00:37.97	6位	00:37.41	6位	
	S7	50m自由形	Day6 9/26	00:36.98	11位			
石浦智美	S11	50m 自由形	Day 1 9/21	00:30.87	3位	00:30.71	4位	
	S11	100m 自由形	Day5 9/25		予選なし	01:10.10	4位	
	S11	100m 背泳ぎ	Day6 9/26	01:20.78	5位	01:22.66	6位	
前田恵麻	SM9	200個人メドレー	Day2 9/22	02:44.31	7位 PB	02:45.82	7位	
	S9	100m背泳ぎ	Day6 9/26	01:18.94	10位			
リレー	49P	4×100メドレーリレー	Day4 9/24		予選なし	04:37.90	銅	石浦・齋藤・木村・辻内
								アジア新・日本新
	49P	4×100フリーリレー	Day6 9/26		予選なし	04:07.96	銅	木村・齋藤・石浦・辻内
	20P	4×50メドレーリレー	Day 3 9/23	02:52.36	5位	02:45.71	5位	田中・鈴木・西田・由井
				日向・鈴木・西田・由井				日本新